

知識探訪

多民族社会の横顔を読む
協力：日本マレーシア学会 (JAMS)

プニョングット島におけるリアウ・リンガ王国の歴史的遺構と文化的継承

青山亨（東京外国語大学名誉教授・副学長）



ラジャ・アリ・ハジの墓がある墓所。彼を顕彰する大看板が目立つ。墓所の奥はハミダ王妃の墓廟で、内室には彼の教訓詩が刻まれている（2013年、筆者撮影）

シンガポールから高速船で1時間弱で着くインドネシアのリアウ諸島州ビンタン島は北部のリゾート地で知られる。しかし、同島南部沖に位置するプニョングット島が、19世紀におけるリアウ・リンガ王国（ジョホール王国の後継）の宮廷活動と文化的生産を示す貴重な歴史遺構群を有していることを知る人は少ない。

面積1平方キロメートル弱のこの小島には、モスク（イスラム教礼拝所）、墓廟（びょう）、宮殿跡などの建造物が現存しており、近世マレー世界の言語文化に関する有力な研究対象である。

ジョホール王国は、1511年に滅亡したマラッカ王国の王統を継承し、幾度にもおよぶ遷都の中で、ビンタン島を含むリアウ・リンガ諸島にしばしば王都を置いた。1699年に発生したスルタン弑逆（しぎやく）事件により王統が断絶すると、ブギス人勢力の支援を受けたブンダハラ家が王位を継承し、マレー人スルタンとブギス人副王による事実上の二重統治体制が成立した。以後、政治的実権は副王家に集中し、スルタンは形式的存在となった。

プニョングット島の発展は、1803年、スルタン・マフムード・シャー3世が第4代副王ラジャ・ハジの娘ハミダとの婚姻に際し、同島に王宮およびモスクを建設したことに端を発する。この婚姻は、当時の副王家の軍事的・政治的優位を背景とする政略的性格を有し、島は副王家の勢力基盤となった。リアウの統治はすでにオランダの手にあり、マフムードは婚姻後、居所をリンガ島へと移し、実質的には政務から退いた。

1812年のマフムード死後、後継スルタンを巡って内紛が生じ、イギリスとオランダがそれぞれ異なる候補を支持した。1824年の英蘭協定により、領域はイギリスの勢力圏であるマレー半島（ジョホール、シンガポールを含む）側と、オランダの勢力下に置かれたリア

ウ・リンガ諸島側とに分割され、政治的分断が決定的となった。リアウ・リンガ王国の宮廷は1913年にオランダ当局により廃止されている。

現在、プニョングット島には第7代副王によって改修されたスルタン・モスク、ハミダ王妃および歴代副王の墓廟、宮殿跡などが残されている。

中でも注目されるのが、文学者ラジャ・アリ・ハジ（Raja Ali Haji, 1808—1873）の墓である。彼はブギス人副王家の出身でありながら、規範的なマレー語による著作に尽力し、歴史書『トゥッフアト・アル＝ナフィース』（貴重な贈り物）、文法書『ブスタン・アル＝カーティビーン』（文筆家の園）、教訓詩『グリンダム・ドゥア・ブラス』などを著した。

近年になって彼の業績は、「マレー語＝インドネシア語の父」として高く評価され、2004年にはインドネシア共和国より民族英雄に認定されている。また19年には映画化された。業績の顕彰にここまで時間がかかったのは、マレーシアとインドネシアのはざまにあったからなのかもしれない。

ラジャ・アリ・ハジの文学活動は、王国の政治的衰退と西洋列強の進出という歴史的転換期において、マレー世界の文化的アイデンティティを維持・再構築する試みとして位置付けられる。彼の教訓詩の一節「Hukum adil atas rakyat, tanda raja beroleh anayat（民に公正な法を施すことは、王が神の恩寵＝おんちようを得ている証しである）」は、彼が理想としながらも、現実の国家では実現しなかった統治の倫理的正当性と信仰との結びつきを端的に示している。

<筆者紹介>

1957年、神戸生まれ。シドニー大学文学部インドネシア-マレー学科修了。PhD（博士号）を取得。専門は古ジャワ語文学および東南アジア前近代史。東南アジアにおけるインド化ならびにイスラム化という文化変容に関心がある。近著では『アジア人物史 第1巻 神話世界と古代帝国』（2023年、集英社）の第13章「東南アジアの初期国家とインド化」、NAGASAKI Hiroko 他編 *Currents of Metamorphosis across the Indian Ocean* (2025年、Kyoto and Vizianagaram: Kotaba Books) 所収 “The Metamorphosis of Kaikasi to Sukesī: Revising Opera Jawa, a Contemporary Indonesian Cinematic Re-imagining of the Rāmāyana” がある。